

資料 No.4

# 大規模修繕事業 (PC桁の間詰め対策について)

2020年11月16日

管理本部 管理本部 保全技術課

## ① 検討の背景

## ② 現状の損傷状況を考慮したFEM解析

現状の損傷状況を踏まえ、鋼板接着補強のみによる対策の適用範囲を定めるにあたり、既往の検討のみでは不足すると考えられる点について、解析的検討（FEM解析）を実施する

## ③ 調査・対策選定フローの策定

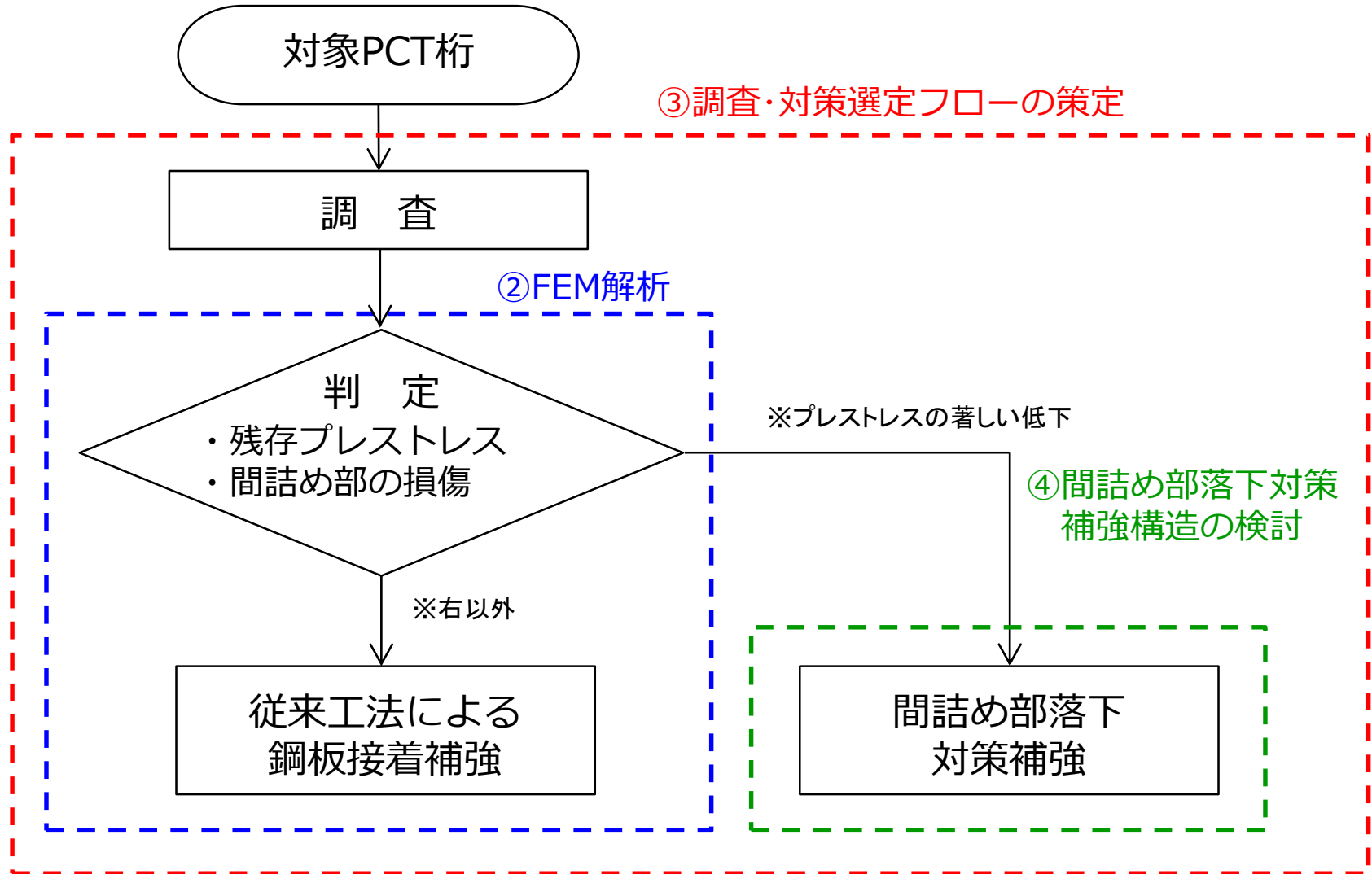
各々の径間の劣化・損傷状況に応じた対策を体系的に判定するための、調査・対策選定フローを策定する。

## ④ 間詰め部落下対策補強構造の検討

鋼板接着補強のみによる対策では対応が難しいと考えられる径間については、新たな間詰め部落下対策補強構造を検討する。

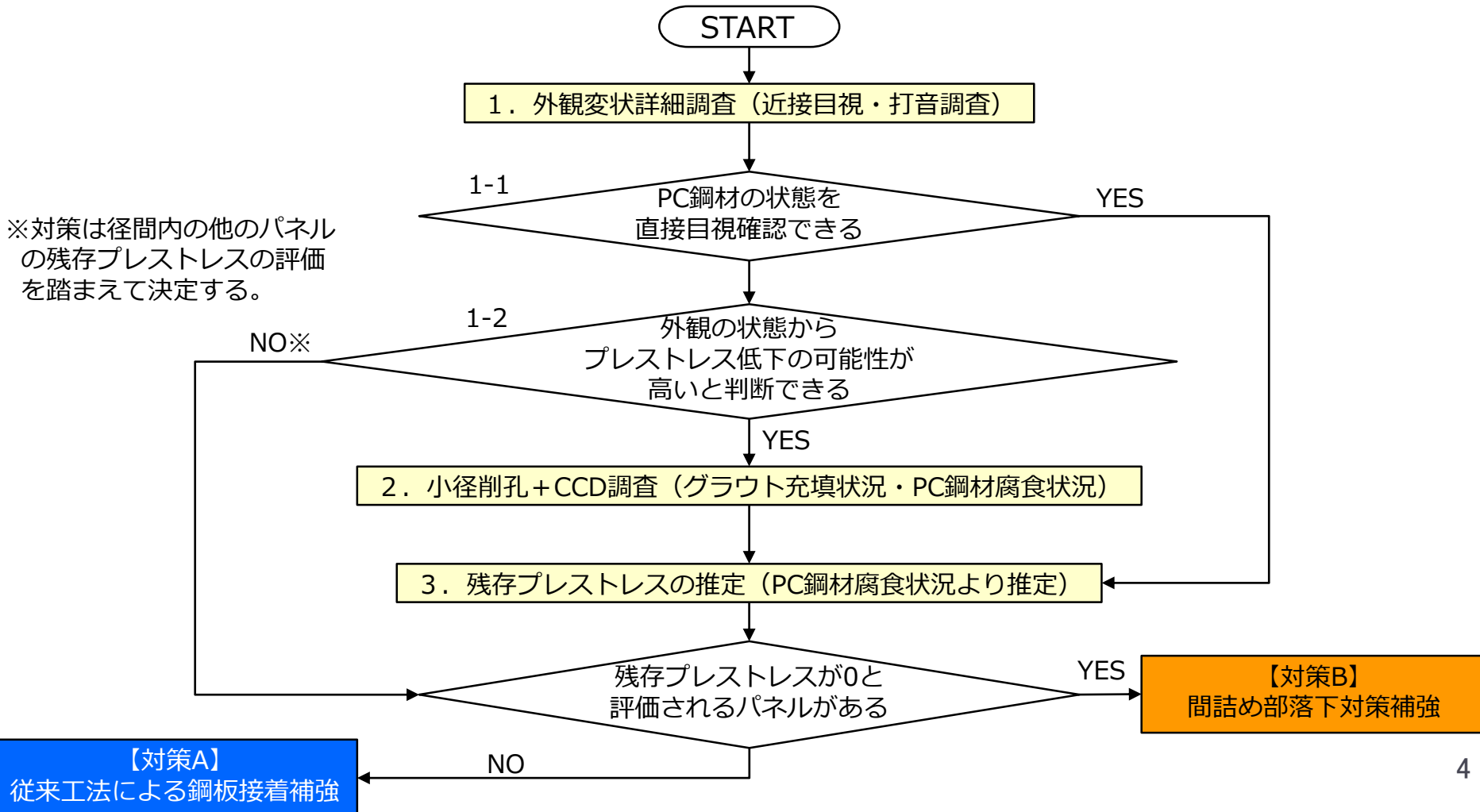
# ①検討の背景

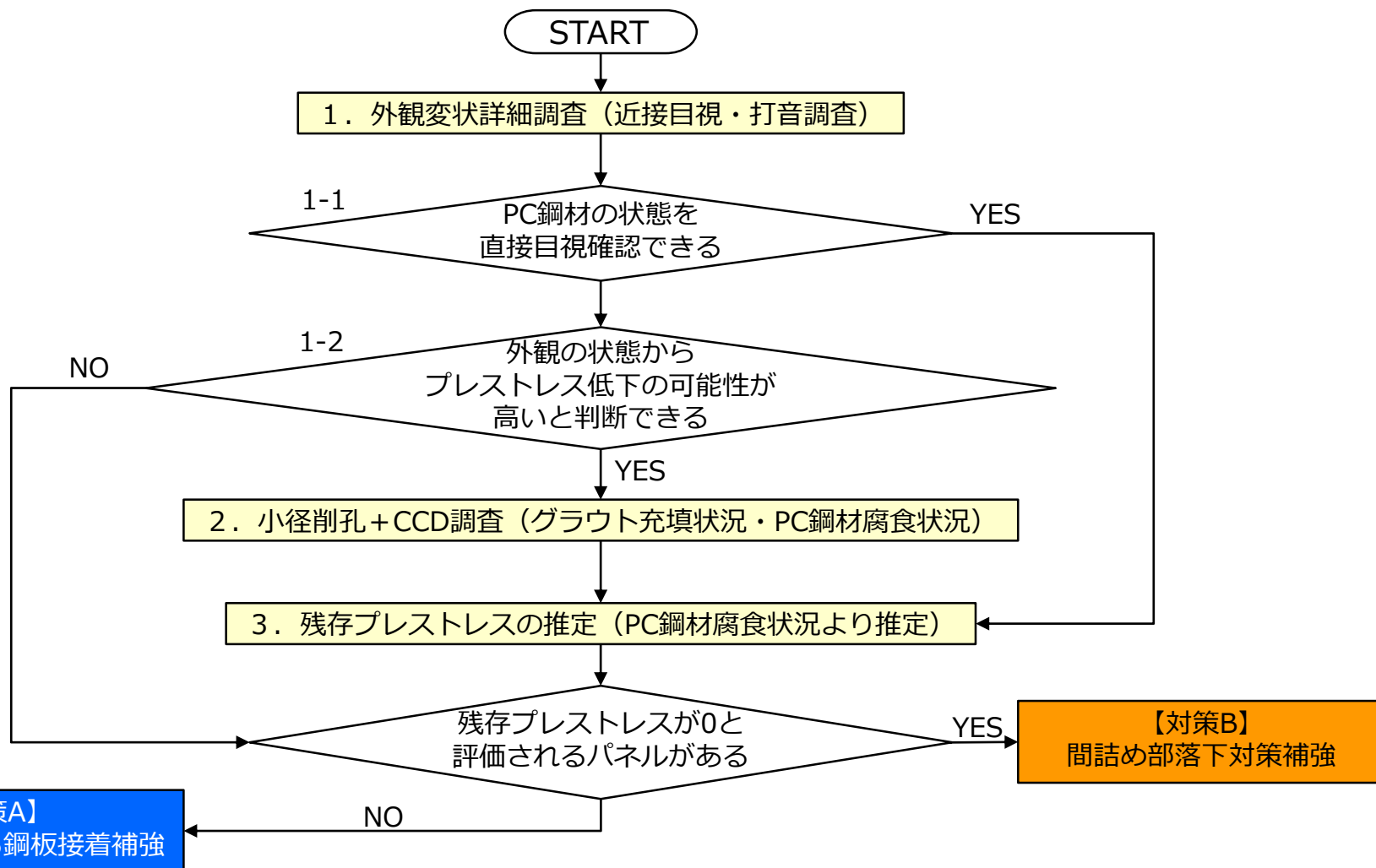
## 各検討の位置付け



# ③調査・対策選定フローの策定

- 従来より展開されてきた鋼板接着補強のみによる対策【対策A】を基本とするが、同対策では十分でないと考えられる径間に対しては、間詰め部落下補強対策【対策B】を実施する。これらの対策選定を行うために、必要な調査および判定値を整理した調査・対策選定フローを策定した。





- 間詰め部のひび割れを考慮したFEM解析を実施し、調査・補強のフローと実構造物で把握可能な従来工法（鋼板接着補強）の適用範囲を定めた。
- 従来工法が適用範囲外の場合の補強方法を定めた。